

淡路瓦、万博で世界へ

仮想空間でショールーム

淡路瓦工業組合(濱口健一理事長、58社)は5月29日、南あわじ市のうめ丸で第20回通常総会を開催、事業計画と約3600万円の予算を原案通り承認した。出席者は25名。

2025年に開催される大阪・関西万博では、「ひょうごファイルドパビリオン」SDGs(持続可能な開発目標)体験型地域プログラムで、同工組の「未来につなげる淡路瓦のモノづくり」『淡路瓦ストーリー』が認定されているが、昨年度は関西パビリオンなどへの淡路瓦採用を陳情している。

ひょうごファイルドパビリオンでは、実際SDGsに貢献している「淡路瓦がいかにSDGsに貢献しているか」を伝えるパネルや動画などのプロモーションツールを制作、展示会場で使用するほか、NSによる情報発信により、淡路瓦のブランド価値向上と、販路拡大を狙う。

総会後は、西村康徳衆議院議員や南あわじ市の守本憲弘市長、太田康文県議会議員、県淡路瓦工業組合の川井史彦局長、南あわじ市議会の北条志津子副議長、同市産業厚生常任委員会の大江幸司副委員長など来賓を招いて懇親会を開き、65名が出席した。

長住協C・JK部材

531品目、金属屋根材初登録

長期使用住宅部材標準化推進協議会(略称・長住協、北村浩幸会長)は、5月23日、2024年度定時総会と記者会見を東京のミサワホーム(株)で開き、第8期(22年5月25日)24年5月24日)の活動実績を報告、C・JK部材(長期使用対応部材)に初めて「金属瓦(一文字瓦)」などが登録され、合計531品目になった。

また第8期入会企業のうち屋根材メーカーは、(株)ルーフスタイルグループ(株)ジャパンと(株)吉岡の2社で、いずれも金属屋根材メーカー。

同協議会は、経済産業省の提言に基づき、住宅部品・部材の標準化(共通)化を推進する

環境展 3日間で9万人来場

環境配慮でリサイクル注目

5月22〜24日、東京ビックサイトで「第33回 2024 NEW環境展」と「第16回 2024地球温暖化防止展」を開催した。

屋根関連では、(一)社「瓦チップ研究会、瓦リサイクル事業協同組合、K・グラント」が共同で出展。瓦チップを有効活用したさまざまな事例を紹介。瓦の廃材を利用した透水性インタローッキングブロック「和みブロック plus」などを展示した。

廃材リサイクルが共同で出展。瓦チップを有効活用したさまざまな事例を紹介。瓦の廃材を利用した透水性インタローッキングブロック「和みブロック plus」などを展示した。

輸入は中国が最多

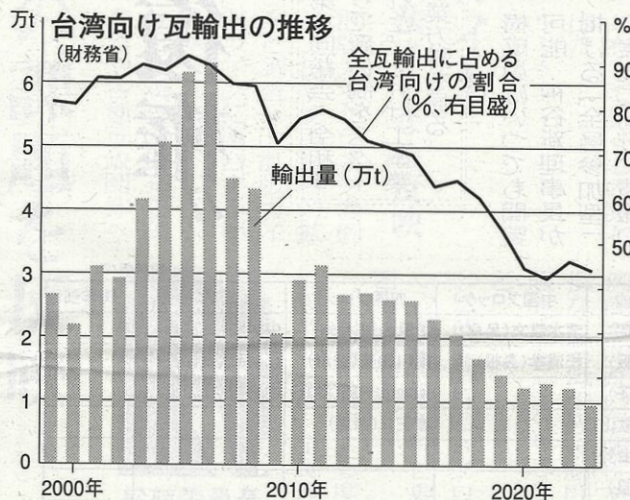
粘土瓦の輸入は1406t(約47万枚)と同換算で前年比13%減。輸入金額は逆に約6800万円で同15%増。あたり単価も平均で3万6800円から32%増の4万8700円に急上昇。輸入相手国は5カ国で1カ国減。輸入相手国の動向としては、全輸入量に占める中国の割合は同12%の減少だが依然、70%と高い。

23年の粘土瓦 前年比輸出16%増、輸入32%増

財務省の2023年貿易統計がこのほどまとまった。同年1〜12月の粘土瓦の輸出は、前年比14%減の2万2737t。1枚3kg換算で758万枚相当。輸出金額は約10億円と変わらないが同1%減。この結果、あたりの輸出単価は前年の3万9366円から16%増の4万5576円など。上位のアジア3カ国で全輸出量の9割を占めている。

輸出相手国の動向としては、05年の92%をピークに減少傾向にあった台湾は前年から2割減、フィリピンは同2割増、中国は同1割減。

23年に新たに加わったのはマレーシアとインドネシア。逆にミャンマー、オマーン、フランス、フィンランド、ロシア、カナダ、オーストラリア向けの輸出がなくなった。



組合員減少に歯止めを

菊間産地で総会

菊間町窯業協同組合(越智浩一理事長、11社)は5月22日、今治市の組合事務所で開催、6年度通常総会を開いた。

越智理事長は本紙に「組合員の減少に歯止めをかけた」とし、組織の団結と活性化に努めると語っている。

現在組合は、菊間瓦の団体で、ハウスメーカー、屋根材を含む建材メーカー、住宅設備機

2製品の生産を終了

栄四郎瓦

三州産地の瓦メーカー、栄四郎瓦(株)(愛知県碧南市、横山朋久社長)はこのほど、需要減少に伴い「エスバニカ(S形)」と「カパラスKS40」の生産を終了する。

両製品の注文受付終了日は6月28日(金)まで。補修分については特注品として生産。納期や価格に関しては左記の問い合わせ先まで。

栄四郎瓦(株) 本社
〒0566485
115、関東営業所
〒0286125
823、九州営業所
〒0942944
460

器メーカーで構成される。会員は111社。現在、会員のハウス

メーカーのC・JK部材採用率は76%、当面は80%を目指す」という。

事業協同組合と北海道産業(株)らは、共同で太陽光パネルのリサイクルシステムについて紹介。

太陽光パネルは廃棄パネルリサイクル装置を使用し、アルミ枠を取り外して、バックシートからガラスを剥離することで、100%リサイクルを実現するという。

アスベスト調査分析

例はアスベスト(石棉)調査分析の専門会社。事前調査から検体採取、報告書作成をワンストップで対応。

現在、東京、中部、大阪をはじめ全国7カ所で調査対応している。また、調査分析に関するコンサルティンクもやっている。

両展示会の3日間の来場者数は合計9万2121人だった。

仲間減らすな

(総会で理事長を退いた長野県瓦事業組合の藤田英則理事長が冒頭のあいさつで組合の意義について)

「30年前は200社以上いた組合員がいまや69社しかない。同士の

談話室

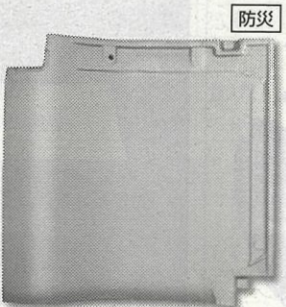
一番大事なことは『仲間を一人も減らさないこと』。この69社を1社も減らさず、増やしていく。瓦の需要は減少しているが、よい瓦をよい施工で、次の世代に遺していく仲間、同士の

長く愛されるブランドだけが、本物のブランドになる。

いぶし瓦

伝統に培われた構成美。

JIS 53 判防災瓦
両深切判
JIS 56 判防災瓦
80 判



源八いらか

GENPACHI-IRAKA
本壹二体瓦
商標登録第4950259号
実用新案登録第3046454号



- 九州営業所 〒811-2413 福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲584-3
TEL.092-947-4437 FAX.092-947-4438
- 大分営業所 〒875-0034 大分県臼杵市板知屋1257-1
TEL.0972-63-0488 FAX.0972-63-0490
- 佐世保営業所 〒859-3702 長崎県東彼杵郡佐世保市湯無田郷950
TEL.0956-85-7827 FAX.0956-85-7871
- 香川営業所 〒762-0053 香川県坂出市西大浜北4-1-43
TEL.0877-44-3607 FAX.0877-45-9787
- 松山営業所 〒791-8036 愛媛県松山市高岡町47-1
TEL.089-974-8856 FAX.089-974-8857
- 広島営業所 〒729-0114 広島県福山市柳津町4丁目2-19
TEL.084-934-0550 FAX.084-934-0551